

日・ボツワナ外交関係樹立50周年記念レセプションの開催

2016年8月15日
在ボツワナ大使館

8月3日（水）夜、当館は、本年2016年が日・ボツワナ外交関係樹立50周年となることを記念して、市内フェアグラウンド・イベントホールでレセプションを開催しました。

同レセプションには、ボツワナ政府代表としてモラレ外務国際協力大臣代行が参加した他、ラロツィア農業大臣、ケボナン投資通商産業副大臣、ゴヤ教育技能開発副大臣、ツィレレツォ地方自治開発副大臣等の政府要人を含め、各国大使、政府関係者、企業関係者、邦人、プレス等200名以上が参加しました。

冒頭のスピーチにおいて尾西日本国大使は、外交関係樹立以来の二国間関係の歴史、現在行っている各種経済協力や文化行事などにつき述べた他、東京オリンピックが2020年に開催されること、TICADVが8月27日及び28日にケニアで開催予定であることを紹介しました。また、モラレ大臣は、両国間の要人往来や協力に触れ、両国関係が将来一層発展することを確信する旨述べました。同スピーチの後には、当国の著名な詩人であるモレリ氏により、我が国の対ボツワナ支援を称える詩の披露が行われました。また、ロンドン在住の和太鼓奏者廣田丈自氏他による和太鼓の演奏が行われ大きな拍手が送られました。

本レセプションでは、当館作成の50周年記念誌を、当地JICA支所作成のエコバッグと共に招待客に配布したほか、和食（寿司、天ぷら）や日本酒も提供しました。また、会場内に、当館、JICA、JOGMEC、日本工営、ディメンション・データ（NTT子会社）、カンサイ・プラスコン（関西ペイント子会社）、コマツ・ボツワナの活動を紹介するデスクを設けました。

当館は、7月以降、50周年記念事業として、柔道場建設事業や一連の文化事業（国際交流基金巡回展、和太鼓公演、日本映画祭）を行っていますが、このような中で両国間関係が大きくアピールされる本件レセプションを行ったことにより、二国間の友好協力関係が一層強化されることが期待されます。



尾西大使とモラレ大臣による鏡割り



和太鼓の演奏